



ツルマサキ [蔓正木]

5本の樹

常緑 / つる類 / 木本植物 / 在来種



科名 ニシキギ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い (保証の観点より)

全国の山野に生育する常緑つる性植物。立木や岩壁があると登り始め気根を出し付着する。初夏に咲く花は、花弁、萼片(がくへん)、雄しべがそれぞれ4つ。秋には赤い実をつける。園芸品種のエメラルドガイティは、白い覆輪が美しい。ブロンディーは葉の内側に斑が入る。



Memo

斑入りの葉は、緑の葉に置き代わることがある。茎の元から切り詰めると、斑入りの葉が増えてくる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期						■						
果	実										■		
紅	葉												
施	肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
剪	定	■					■						■

好みの環境			
日当り	陽	○	○
土壌	乾		○
寒さ	強		弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
				○			

ポイント

気根により付着するため、庭石や石積みにも上手く登坂して光沢ある葉で覆ってくる。暗くなりがちな場所のグラウンドカバーや壁面緑化に適応できる。また、狭い場所にも配植しやすい。

剪定

よく繁殖して光沢のある葉を密につける。剪定や刈り込みに耐える丈夫な植物。放任するとつるが絡み合うので、つるの誘導と整理をして鬱蒼(うっそう)とならないよう風通しを保つとよい。

病虫害

マサキ同様カイガラムシやうどんこ病が発生することがある。ユウマダラエダシャク(幼虫時の名はシャクトリムシ)は、大量発生すると丸坊主にされるので早めに駆除する。

呼べる鳥



アオゲラ・メジロ・コゲラ・キジバト
ジョウビタキ・カワラヒワ
シジュウカラ・ツグミ